



気付き、考え、高め合う「かがみっ子」～行動～

鏡小学校だより

第8号

R7.6.10

文責 桑原 理子



HP <https://es.higo.ed.jp/kagami/>

YKK AP 株式会社 様より「メダカ」を寄贈いただきました

YKK AP 株式会社様の環境教育事業の一環として、本校5年生にメダカを寄贈いただきました。5月28日(水)に贈呈式を行い、「おしえて!メダカ先生 プロジェクト」と題し、この取組の趣旨と子供たちへのメッセージを授業形式でお話いただきました。子供たちは、絶滅危惧種に指定されている「ニホンメダカ」のことや、在来種を保護する活動について、真剣に話を聞いていました。今、近くの川にはメダカはほとんど見られず、メダカに似ている外来種の「カダヤシ」がほとんどです。YKK AP 株式会社では、工場排水等の管理はもちろん、敷地内の緑化や鯉や鴨など様々な生き物の飼育、山羊による除草など、環境にやさしい取組を推進されているそうです。環境を守ること、在来種を保護することの意義を学んだ子供たち、自分たちにできることをこれからの生活の中で実践してくれることでしょう。いただいたメダカを「大切に育てます!」と話してくれました。YKK AP 株式会社の皆様、本当にありがとうございました!



引き渡し訓練、大変お世話になりました

6月5日(木)に、災害や事件発生を想定した引き渡し訓練を実施しました。今回は特に、大雨について事前を行い、各教室で水害の恐ろしさや命を守る行動について考えました。保護者の皆様のご協力により、駐車スペースであった運動場の混乱もなく、児童引き渡しをスムーズに行うことができました。心より感謝申し上げます。災害や事件はいつ起こるかわかりません。起こらないことを願うばかりですが、万一、起こった場合、落ち着いて命を守る行動をとることができる力をつけたいものです。私たち大人も、子供たちとともに学び、学校・家庭における危機管理についてアップデートしていきましょう。これから、梅雨・台風のシーズンに入ります。ご家庭でも、いざというときのそれぞれの「命を守る行動」について、ぜひ話し合われてください。

安全に避難するためには、
② 正しい情報を確認すること
② 「どこに」「だれと」「いつ」避難するか、日頃から話し合っておくことが肝心です。ご家庭でも話題にしてください。



鏡中学校の運動会を参観しました

5月25日(日)に、鏡中学校の運動会を参観させていただきました。前日の雨でぬかるんだ運動場を全力で走り、はつらつと競技する鏡中生の姿を見て、大変感動しました。よき先輩が校区の中学校で育っていることを大変うれしく思います。本校の運動会でも、鏡中生がテントの片付けを率先して手伝ってくれました。登校時も気持ちのよいあいさつを返してくれます。大変すがすがしい気持ちになります。目標とする先輩の姿に近づけるよう、かがみっ子のみなさんもがんばりましょう!